

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	人権・平和の普及啓発	施策No	10-06	部課名	総務企画部総務企画課		
				課長名	小林	内線	2110

関連部課名							
--------------	--	--	--	--	--	--	--

行政評価	分野	文化創造都市					
事業体系	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				

目的
 人権の尊さ、平和の大切さを区民に広く普及啓発を図ることにより、平和を愛し、思いやりと互助の精神にあふれた温かい地域社会の形成を図る。
 性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	文化的寛容性	2.60	2.64	2.63	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	人権・平和事業参加人数(人)	1,507	961	1,153	1,207	1,408	参加人数
	男女平等社会形成のための講座・講演会参加人数(人)	1,643	1,759	1,559	1,650	1,800	参加人数

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	51,904	42,619	9,285	行政収入	地方税	0	0	0
	物件費	30,178	32,876	2,698		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	3,338	6,658	3,320		都支支出金	595	607	12
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	4,500	4,393	107		使用料及び手数料	4,644	4,440	204
	減価償却費	37,685	37,685	0		その他	243	256	13
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	5,482	5,303	179
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,646	6,712	3,066		行政収支差額(a)-(b)=(c)	125,769	125,640	129
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	131,251	130,943	308		通常収支差額(c)+(d)=(e)	125,769	125,640	129
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	125,769	125,640	129		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	1,709	1,598	111
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	1,709	1,598	111
固定資産	有形固定資産	2,252,757	2,215,391	37,366	固定負債	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,721,996	1,721,996	0		特別区債	11,074	14,168	3,094
	建物	1,383,942	1,383,942	0		特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	853,181	890,547	37,366		退職給与引当金	11,074	14,168	3,094
	工作物等	17,512	17,512	0		その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	17,512	17,512	0		負債の部合計	12,783	15,766	2,983
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	2,240,930	2,200,262	40,668
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	2,240,930	2,200,262	40,668		
その他の固定資産	956	637	319	負債及び正味財産の部合計	2,253,713	2,216,028	37,685		
資産の部合計	2,253,713	2,216,028	37,685						

財務諸表に関する特徴的事項等

行政費用として、物件費の割合が高くなっており、男女平等推進センターの施設維持管理に係る委託料が約6割を占めている。物件費の増は、荒川さつき会館における物品の買替え等や施設維持管理に係る委託契約の変更が主な理由である。

また、29年度の維持補修費の増は、男女平等推進センターにおける工事実施によるものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>近年の人権課題は、「児童虐待」「高齢者虐待」「DV」「障害者差別」「同和問題」「ヘイトスピーチ」「LGBT」等、多様化・複雑化している。</p> <p>男女共同参画について、男女共同参画社会基本法（平成16年6月）や女性活躍推進法（平成27年9月）、荒川区男女共同参画社会推進計画（平成28年度～32年度（2020年度））に基づき、推進を図ってきた。一方で、区民世論調査による結果をみると、この15年間における区民の意識に大きな変化は見られない状況にある。</p> <p>日々の平穏な暮らしは、平和というかけがいのない財産で成り立っているとの認識の下、様々な機会を捉えて平和の大切さを区民に身近に感じてもらう取組を実施している。</p>
課題	<p>人権課題の多様化・複雑化に加え、インターネットにおける心ない書き込みやいじめ等、日常生活の身近な場面で人権侵害が起こり得る状況にあるため、一層の人権意識の向上や普及啓発を図る必要がある。</p> <p>男女共同参画については、依然として人々の意識や行動、社会の習慣・慣行の中に性別に基づく固定的な役割分担意識が根強く残っている状況にあり、それらの改善・解消に向けて普及啓発を図る必要がある。</p>
今後の方向性	<p>これまで以上に、多様性や一人ひとりの個性を認め、理解し合える地域社会の構築を目指し、様々な機会を捉えて人権意識の向上に努めていく。特に、平成32年（2020年）に開催される東京オリンピック・パラリンピック等を機に、あらゆる年代に対して広く普及啓発を図っていく。こうした状況等を踏まえ、「荒川区人権推進指針（平成13年4月）」についても、見直しの可否を検討する。</p> <p>荒川区男女共同参画社会推進計画に定める目標値の達成に向けて、区におけるあらゆる分野において男女共同参画の推進を図っていく。</p> <p>平和の大切さについて、映画会やパネル展等を通じて引き続き区民に身近に感じてもらえる取組を継続して実施する。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
推進	推進	人権意識や平和の願い、男女共同参画の推進について、広く区民に普及啓発を図っていく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
荒川さつき会館管理運営 事業	01-01-26	42,525	38,642	16,554	17,332	継続	継続	地域住民の交流促進及び 人権施策推進の施設とし て、引き続き適切な管理・ 運営を行う。
人権・平和普及啓発事業	01-01-27	18,028	18,115	2,344	2,551	推進	推進	人権の尊さや平和の大切 さを広く区民に普及啓発す る必要がある。
男女平等推進センター管 理費	01-01-30	43,663	43,342	11,779	11,405	継続	継続	男女共同参画社会の実現 を目指す拠点施設として、 更なる効率的運営を図る。
男女平等推進センター運 営事業	01-01-31	13,164	14,004	9,796	10,604	継続	継続	引き続き、男女共同参画 社会形成促進の拠点施設と して適切な運営を行う。
男女共同参画啓発・相談 事業	01-01-32	11,065	10,443	6,013	5,343	推進	推進	男女共同参画社会基本法 や女性活躍推進法を踏ま え、区としても重点課題と して取り組む必要がある。
男女平等推進センター営 繕事業	01-01-33	2,806	6,397	0	3,564	継続	継続	施設の安全性を維持する ために必要不可欠である。
合 計		131,251	130,943	46,486	50,799			